

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：工鉦業費 目：中小企業振興費
担当課	経営革新課
事業名	中小企業等災害復旧支援事業（単県）

目的

平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けた地域において、中小企業等グループが、県の認定を受けた復興事業計画に基づき実施する施設復旧等の費用の一部を助成することにより、地域の経済・雇用の早期の回復を図る。

事業説明

対象者

令和3年3月末までに復旧工事が完成しない中小企業（1者）

事業内容

（単位：千円）

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
中小企業 等グループ 施設等 復旧整備 補助事業	○中小企業等が施設・設備の復旧に要した経費への助成 <ul style="list-style-type: none"> ・サプライチェーン構成企業など、複数の中小企業等からなるグループが復興事業計画を作成し、県が認定した計画について、計画に該当する施設・設備の復旧に要した経費を各中小企業等に助成 ・対象者：中小企業等 ・対象経費：施設費，設備費等（資材・工事費，設備調達や移転設置費等を含む） ・補助率：中小企業 3/4 ・補助上限額：15億円 	10,343	6,652	6,642 [—]
	合 計	10,343	6,652	6,642 [—]

令和3年度の成果目標と実績

- 事業目標：被災した中小企業等施設・設備の復旧事業の進捗率 目標値 100%（令和3年度末）
- 実績：100%

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 事業者との連絡を密にし、状況を把握しながら補助事業を進めたことにより、目標を達成した。

令和4年度の方針

- 引き続き、被災事業者の動向を把握する。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：工鉦業費 目：中小企業振興費	<table border="1"> <tr> <td>領域</td> <td>産業イノベーション</td> </tr> <tr> <td>取組の方向</td> <td>⑦ 中小企業・小規模企業の生産性向上・経営改善</td> </tr> </table>	領域	産業イノベーション	取組の方向	⑦ 中小企業・小規模企業の生産性向上・経営改善
領域	産業イノベーション					
取組の方向	⑦ 中小企業・小規模企業の生産性向上・経営改善					
担当課	イノベーション推進チーム					
事業名	緊急時レジリエンス環境整備事業 (一部国庫) 【一部新規】					

目的

平成30年7月豪雨災害での交通遮断等により、事業の停滞等が露見し、災害等の緊急時に強靱かつ柔軟な事業活動ができる環境を整備する必要があることから、BCP（事業継続計画）の策定が進んでいない中小企業等を対象に、災害等の非常事態の中で、通常事業の早期復帰等を目指すためのBCPの策定を支援することで、地域全体の経済活動を維持する環境を整備する。

※BCP…自然災害、感染症等の自社に影響を及ぼす脅威に備えて、企業にとって中核となる事業の継続のために、平常時の活動や緊急時における事業継続の方法・手段等を取り決めておく計画

事業説明

対象者

県内の中小企業等

事業内容

(単位：千円)

区分	内容	当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
BCP・BCM(事業継続マネジメント)普及フォーラム等	○BCPの有効性の事例を交えて紹介し、BCPの必要性を説く経営者向けフォーラム・セミナー ・県内3か所(広島・呉、福山・尾三、北部) 計15回	4,095	4,095	3,488 [—]
BCP策定支援講座等	① ワークショップ形式の策定講座(BCP文書化) ・緊急時の体制整備、被害想定、事業の優先度の選定等最低限必要な内容を検討し、BCPを策定 ・取引先等の関係事業者へのBCP策定の推進に向けたワークショップの実施 ② 机上演習等(BCM活動の習慣化) ・付与した被害想定に対して、策定したBCPの有用性等を確認・効果検証 ・机上演習等の推進を目指すための社内教育の整備等についての助言相談サポート	17,075	17,075	16,891 [—]
BCM共助推進体制システム構築モデルの検証	○大災害発生による事業中断時に複数の事業者が共同で事業継続を可能とするための「共助体制」の構築をモデル的に実施	1,000	1,000	305 [—]
合 計		22,170	22,170	20,683 [—]

※端数処理の関係で積み上げた数値と合計額が異なる場合がある。

令和3年度の成果目標と実績

○ 事業目標

指 標 名	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
BCP策定事業者数	140者 (R元～R3 420者)	146者 (R元～R3 471者)

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 産業支援機関や企業への訪問・架電等によるアプローチを継続的に実施し、BCPの必要性和事業の周知に取り組んだ結果、令和3年度の事業目標を達成した。
- 一方で、民間調査(株式会社帝国データバンク「広島県 事業継続計画(BCP)に対する企業の意識調査(2022年) [2022年6月23日]」)の結果によると、策定企業・策定中企業ともに微増にとどまっている。他県と比較するとBCP策定率が低い状況が継続しており、県内でのBCP普及が十分に進んでいない状況である。(全国策定率17.7%, 広島県14.5%)
- また、県の事業においては、参加企業のBCP策定及びBCM構築(BCPが緊急時に有効に機能するための、平時から実施する組織作りや教育・演習等)を支援することにより、参加企業の属するサプライチェーン内でのBCPの取組が自発的に促進され、県内にBCPが普及することを目指していた。しかし、参加企業へのヒアリングの結果、自社内でのBCM活動で課題を抱えているケースが多く、サプライチェーン内での働きかけまで至っていないことが判明している。そのため、これまでの取組に加えて、BCP策定済企業のBCM構築に対する踏み込んだ支援が必要である。
- 加えて、中小企業がBCPを策定しない理由として「策定に必要なスキル・ノウハウがない」が最も多く上げられている。経営資源が限られた中小企業が策定しやすいような支援方法を提供する必要がある。

令和4年度を取組方向

- 県内でのBCP普及推進に向けて、令和3年度までの取組内容に加えて、組合・団体との共催・講師派遣を実施することで、組合・団体の構成企業向けにBCPの普及を図るとともに、組合・団体としてのBCP策定を支援する。
- BCP策定済企業に対しては、BCM構築に向けたより高度な講座を新設し、自社の事業継続力強化を支援するとともに、BCMの観点からのサプライチェーン内におけるBCPの必要性、脅威発生時の対応に係る事前のコミュニケーション(リスクコミュニケーション)の重要性を意識づけることで、企業のサプライチェーンを起点としたBCPの普及を図る。
- 中小企業は経営資源が限られていることも多く、未策定層の比率が高いが、BCP策定に取り組みやすいよう、新たにダイジェスト版BCP策定講座を新設することで、未策定層へのアプローチを促進する。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：農業費 目：農業総務費 ほか
担当課	農林水産総務課 ほか
事業名	公共事業（平成30年7月豪雨災害分）（再掲）

目的

「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に基づき、一日でも早い復旧・復興と更なる発展に向けた新たな広島県づくりに全力をあげて取り組む。

事業説明

事業内容

○ 平成30年7月豪雨災害分

《未来に挑戦する産業基盤の創生》

・ 事業区分別

（単位：千円）

区 分	当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
補助公共事業	—	—	— [—]
国直轄事業負担金	—	—	— [—]
単独公共事業	—	—	— [—]
単独建設事業	—	—	— [—]
維持修繕費	—	—	— [—]
小 計	—	—	— [—]
災害復旧費	6,927,611	4,924,506	1,101,563 [繰越 3,603,335]
合 計	6,927,611	4,924,506	1,101,563 [繰越 3,603,335]

令和3年度の成果目標と実績

○ 事業目標：被災した農地・農業用施設及び林道等の災害復旧

○ 実績：

・ 平成30年7月豪雨災害分

《未来に挑戦する産業基盤の創生》

区 分	箇所名称等
災害復旧事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地・農業用施設 （大豆池地区（尾道市），大谷池地区（三次市）ほか） ・ 林道 （郷原野呂山線（呉市），小倉線（東広島市）ほか）

令和4年度の取組方向

- 平成30年7月豪雨災害や令和3年7月・8月豪雨災害等からの、一日でも早い復旧・復興に全力をあげて取り組む。

令和3年度主要事業の成果

支出科目	款：農林水産業費 項：農地費 目：農地等保全管理事業費
担当課	ため池・農地防災担当
事業名	農地等保全管理事業受託工事費（単県）

目的

平成30年7月豪雨災害により甚大な被害を受けた農地・農業用施設について、事業主体である市から災害復旧工事を受託することにより、早期の営農再開を支援する。

事業説明

対象者

市（呉市，三原市，東広島市）

事業内容

（単位：千円）

区分	内 容	当初 予算額	最終 予算額 ※	予算 執行額 [繰越額]
農地・農業用 施設災害 復旧工事の 受託	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市が実施する農地・農業用施設災害復旧工事のうち，復旧に高度な技術等を要するため池，頭首工及び大規模被災農地に係る工事を受託 [9月補正] ○ 東広島市から受託したため池の復旧工事において，軟弱地盤が確認されたことを受け，地盤改良等の追加工事を実施 	175,000	228,196	53,648 [174,548]
合 計		175,000	228,196	53,648 [174,548]

※令和3年度9月補正予算を含む。

令和3年度の成果目標と実績

○ 事業目標

指 標 名	基準値 (令和3年度)	目標値 (令和3年度)	実績値 (令和3年度)
令和3年度中の受託工事の完了	—	3地区	1地区

令和3年度の目標と実績の乖離要因・課題

○ 三原市における災害復旧工事は完了したものの，他の市においては，隣接する災害復旧工事との工程調整や，残土を他工事に流用するための調整に時間を要したことにより，完了には至らなかった。

令和4年度を取組方向

○ 隣接する災害復旧工事との工程調整や，残土を他工事に流用するための調整については，完了の目途が立っていることから，工程管理を着実にを行い，早期の復旧に努める。